

平成30年度 新潟県山田錦協議会反省会&忘年会

今年度の参加者は60名

猛暑、長雨など異常気象に負けな^い米づくりを！！



生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)

三菱ケミカル様 助清泰様



平成30年12月5日に、アオーレ長岡にて新潟県山田錦協議会の反省会を開催しました。
今回の参加者は生産者から50名、三菱ケミカルから5名、ヤンマーグループから4名ご参加いただきました。
三菱ケミカル様から助清泰様にご講演いただきました。助清様は育種家として米の品種「夢ごこち」を作られた専門家である。




その後、ファームアイ様の山村知之様から平成30年度リモートセンシングの結果について報告。(左の図参照)

無人ヘリコプター可変追肥作業の実用性向上

当無人ヘリコプターによる可変追肥作業の請負は、ヤンマーヘリ&アグリ(株)で申し受けます



・省力化：実用レベル達成

<p>～2017年度AYH機 実績：約70ha/全国</p>  <p>動力散布機 30分/30a</p>	<p>→</p>  <p>肥料搭載8kg/75升 約15分/30a</p>	<p>→</p>  <p>2018年度YF390AX機 実績：約100ha/全国</p> <p>肥料搭載26kg/75升 ※6-9分/30a</p>
---	--	--

※2018年度は散布肥料を計測。肥料搭載20kg/畝単位で散布。上記はフライトのみの実測の時間です。作業時間は、圃場一筆の大きさ(1ha/筆、30a/筆など)や、散布肥料のN成分により変動します。

今年度の山田錦栽培優秀者の表彰が続き、表彰者の4名が栽培のポイントを実践を踏まえ発表。淡路先生が各人の栽培を解説。

異常な『猛暑』

厳しい天候が続いた夏

協議会を代表して岩淵忠男会長から「今年の7月は雨が降らず8月は猛暑となり、三条市では全一の暑さを記録するなど異常な気候に見舞われました。水不足が心配されましたが、今年も無事収穫する事ができました。異常気象により出穂の時期が早まるかと思いましたが、温度は関係なかったようです。早く出穂出来る技術があれば、山田錦の生産が安定していくのではないかと思っています。」とお話しされました。

30年産山田錦栽培優秀賞

今年度は4名を表彰



おめでとうございます！



- 長岡市 中静 喜秋 様
- 長岡市 長谷川 茂 様
- 見附市 小林 仁志 様
- 上越市 峯村 正文 様

山田錦の栽培のポイントを発表いただきました。ありがとうございました！！
※賞品の獺祭二割三分は旭酒造(株)様の協賛